
僕ら発明部！

黒白赤架

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕ら発明部！

【Nコード】

N7506R

【作者名】

黒白赤架

【あらすじ】

発明部はいるところです。はい。

プロローグ(前書き)

あー。なんでマンガで描いたやつは学ラン着てるのに
小説では小学生なんだ。

小学生のときに書いたやつです。

プロローグ

『おはようございまーす』

4月、桜咲く季節。これは、この日1年5組に入学した僕、冬樹青根の、物語です。

シヨウガク1ネン 春

『えー、というわけで、これで入学式を終了いたします、、、』
キーンコーン、、、

小学1年、はじめてのチャイムが鳴った。

「アオネー！」2年の日差しルエナが、呼ぶ。

「今日から小学生だね！」

「…うん。」僕が答える

「どうしたの？」

「いや、だつてフツのクラブしかないんだもん。」

サッカーに野球、音楽、、、僕がやりたいのはこんなじゃない。

?ルエナが、驚いている

「知らないの? ココ、SUN SHINE学園には『発明部』があるんだよ!？」

このとき僕はハジメテ『発明部』を知った。

「…といつても、部員つて私しかないんだけど、、、

でも、楽しい未来は約束する。だから、おいで! 『発明部』へ!!
「!」

これが、僕ら発明部の小さなプロローグ。

これからが本編です! また、会いましょう!!!

プロローグ（後書き）

笑ってください。

（作者、文法なってねーよ的な意味で。）

1) ハジメマシテ発明部(前書き)

ああ、そうそう、小説版では設定変えてたんだ。
場所がおかしいけど僕の友達の小説もよろしくです。

1) ハジメマシテ発明部

1) ハジメマシテ発明部

ココ、SUN SHINE学園では1年生から部活動に取り組めるプランがあるのです。(まあ個人の特技をのばすため、らしい。)

「本当にここでいいのかな、、、？」不安げに僕は、言う。

何故、僕はここにいるのか、という。プロローグを見てもらえば分かるだろう。

ちなみにココは技術室前だ、、、あつ来た！

「ごめん！遅れた！」

これは日差ルエナ僕の1コ上の幼なじみ。

ガチャツ、、、鍵を開ける音だ。

「さて、、、ようこそ！発明部へ！」

ドアを開けるとそこには、、、って何じゃこりゃ！？

見た事のナイ機械と書類が散らばっていた。…ん？

「そういえば『技術部』と『発明部』は何がちがうの？」

「ああ、、、言っただけだった？発明部は物を作るんじゃない、物を創るんだよ！」

、、、ってことは1からなかったものを考えて創るってこと！？スゴイ！

でもこの話を小1で理解できた、僕もすごい！

「あれっ？顧問の先生は？」

「…んー。いない、かな？」

この答えに、僕は耳を疑う。

「うえ！？どうゆうこと！？」

「話すと長くなるんだけど、、、

私が小学校に入る前、部活が大幅になくなったんだって。」

ここで僕。

「えーと、じゃあココも？」僕らのいる場所を指差す。

「いや。そのときは部員もけっこういたから、

『部活の休止』ですんだんだった。」

でも、徐々に部員も減っていった…

表面上はあるけど本当はないような状況になったんだ。」

ふーん、、、ややこしい…。

「で、私はNEW発明部を創ろうとしているんだ！」「ん！？いきなり話が変わったぞ！？」

「いや、で結局顧問の先生は？」

「ああ、だからさっきの『部活の休止』以来、

ずーっと、いないらしいよ。」

な、な、なんですとー！ー！？

「お願い！『発明部』を立て直すには、部員が必要なんだ！」

ってそんな目で僕に言われてもー！ー！…！！

でも、なんだかんだ言って

『発明部』って面白そうじゃないか！

「わかった。入部します！」

1) ハジメマシテ発明部(後書き)

小1でこの頭脳あつたらほしいね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7506r/>

僕ら発明部！

2011年10月8日20時22分発行